

こもれび 武蔵野市社会教育委員だより

発行日：令和2年9月1日

編集：社会教育委員の会議

発行者：武蔵野市教育委員会

市ホームページではカラー版が
ご覧になれます（右記QRコードから）



武蔵野市社会教育委員だより

令和2年9月1日 第8号

新たな任期を迎えて

社会教育委員の会議議長 板垣 文彦

本年より、議長を仰せつかりました板垣文彦でございます。今年、「時代の変化」は、期待していた華やかなオリンピックではなく新型肺炎というネガティブな姿でやってまいりました。言葉として知っていただけのテレワークや遠隔授業は、多少の混乱を伴いながらも短期間で新しい日常の中に入り込み、人工知能（AI）と共に生きる Society5.0 といわれる社会の原型が図らずも目の前に出現しました。このような中で、私は今、ウィルス感染を防ぐアプリに大きな関心を寄せています。もし、多くの人の参加を必要とするこの試みが広まらないとすれば、それは社会を断片化した状態に放置しておく「無関心の壁」が至る所に存在していることを意味します。押し寄せる「時代の変化」を人間の側が動かす「来たるべき時代」に変革を可能にできるでしょうか？それとも、その逆転を担うはずだったさまざまな発想は「無関心の壁」に阻まれて、これまで通り足下でくすぶり続けるのでしょうか？

「社会教育の会議」は、このような大小の発想の火種に息を吹き込み、武蔵野市に高く掲げて隅々を照らそうとする人たちと共感する会議でありたいと思います。社会は大きな実験場です。新しいことを学び、試し、広げる「学びおくり」の精神はこの中での行動力にあるのだと思います。

議長のご役割は、様々な分野で活躍され、広い人的ネットワークを有する委員とその周囲の方々から広がる議論の輪を活性化することだと心得ます。この役割を、誠実に、そして、迷いながらこなしていきたいと考えています。皆様のご支援をよろしくお願い致します。

コロナ禍における生涯学習

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向け、市内の生涯学習施設も3月から休館の措置が取られました。

緊急事態宣言解除後、徐々に規制を緩和し、段階的に制限付きではありますが、利用できるようになってきています。この間、3密を避けるため、様々な講座も中止となってしまいましたが、家庭でできる生涯学習プログラムとして、市のHP上から動画配信等を行っています。

“おうち de サイエンス”、“ぶらっとプレイス”、“動画で見る武蔵野ふるさと歴史館”、“文化事業団チャンネル”、“吉祥寺美術館チャンネル”、“吉祥寺シアターチャンネル”、“キン・シオタニドローイングワークショップ”、また、STAY HOME の運動不足解消に“3Weeks Try おうちで運動！”“おうちで運動”、“フレイル予防体操プログラム”、“おうち時間 de 健康づくり”等々…。

一部期間限定のものもありますが、是非一度覗いてみてください。

社会教育委員はコロナ禍の生涯学習施設の状況、現状、取組みについて把握するため、9月に視察を行います。

(事務局)



第二期武蔵野市生涯学習計画策定

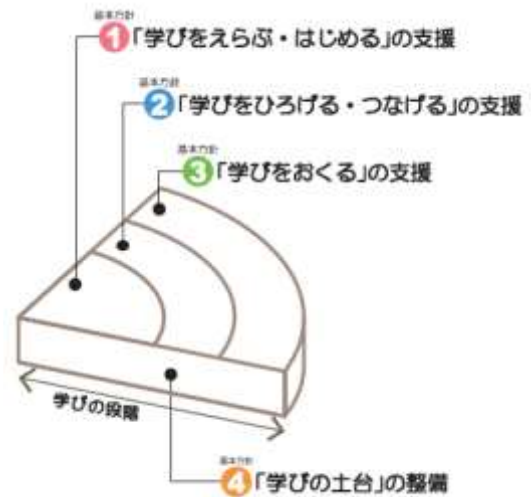
基本理念

学びおくりあい、わたしたちがつくるまち

「学びおくり」とは、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会、あるいは次の世代へ「おくる」という意味の本計画の造語です。この「学びおくり」を通じて、市民が自分たちのまちを自分たちでつくることを「学びおくりあい、わたしたちがつくるまち」という言葉で表現し、これを本計画の基本理念とします。

第二期武蔵野市生涯学習計画は、武蔵野市生涯学習計画（平成 22 年度から令和元年度）の計画期間終了に伴い、本市の状況や社会環境が大きく変化したことを踏まえ、新しい計画として策定したものです。武蔵野市公共施設等総合管理計画類型別計画として「武蔵野市生涯学習施設整備計画」もあわせて策定しました。社会教育委員は武蔵野市生涯学習計画策定委員とともに、計画の策定にあたりました。（事務局）

平成 30 年 8 月～	・市民、団体、周辺住民アンケート ・団体ヒアリング
平成 31 年 4 月～ 令和 2 年 2 月	武蔵野市生涯学習計画策定委員会開催 (10 回)
令和元年 12 月 8 日～31 日	・パブリックコメント (68 件/10 名から意見受理) ・12 月 15 日パブリックコメント 周知イベント開催ー 宇佐見義尚（社会教育委員の会議議長）、キン・シオ タニ（イラストレーター）、川村和生 (株)アトレ吉祥寺店営業課課長)



‘学びおくり’でまちづくりをすすめる「第二期武蔵野市生涯学習計画」

‘学びおくり’とは、今年度改訂された「武蔵野市生涯学習計画」で示された本市独自の造語です。私は、策定委員として昨年度一年間にわたるディスカッションに参画させていただきました。

生涯学習が、英語で lifelong learning と訳されることを知り、ふと世界保健機関（WHO）の健康づくり戦略を思い出しました。WHO は今でこそコロナ対策の渦中の組織ですが、平時の疾病予防や健康づくり戦略において、人々のつながりの重要性を 1980 年代から提唱し続けてきました。そこには、lifelong for health=生涯健康戦略^(注)は、settings for health=健康機会戦略^(注)との両輪であることが謳われています。

‘学びおくり’は、この settings を意識した造語であると私は理解しています。人は、価値あることを学習すると、誰かに教えたくなるものです。同時に、人と関わることそのものも、人生における学びです。コロナ禍で生活行動の制限を余儀なくされる今だからこそ、この計画が意図する生涯学習の意義を果たしたいものです。
(注) 筆者訳 (助友 裕子)

■ 第二期武蔵野市生涯学習計画

[http //www. city. musashino. lg. jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/kyoikubu/1023836/index. html](http://www.city.musashino.lg.jp/shisei_joho/sesaku_keikaku/kyoikubu/1023836/index.html)

令和2年度補助金審査結果

今年度も「生涯学習事業費補助金」及び「子ども文化・スポーツ・体験活動団体支援事業費補助金」の募集が行われ、それぞれ6団体、3団体から交付申請がありました。

6月29、30日に行われた審査会では社会教育委員が審査員として、各事業が補助の趣旨に合致しているかを公正に審査し、審査員の意見を参考に教育委員会が交付金額、指摘事項を確定させました。

(事務局)



➤ 生涯学習事業費補助金（申請：6団体 交付：3団体）

No.	団体名	事業名	交付金額
1	武蔵野市トライアスロン連合	世界最高齢現役トライアスリート稲田弘さん講演会 今が青春！！Part3	99,000 円
2	劇団芝居屋 楽屋	コロナに負けるな！！「武蔵野の夜の夢」	450,000 円
3	RB-SOUL(ラブソウル)	東日本大震災復興支援チャリティーイベント 「Keep Smile Forever vol.10」～キッズダンスで復興支援！～	100,000 円

➤ 子ども文化・スポーツ・体験活動支援事業費補助金（申請：3団体 交付：0団体）

教育委員と社会教育委員の懇談会

毎年8月に行われる教育委員との懇談会ですが、本年は趣向を変え共通の話題である未来の教育の在り方について亜細亜大学特任教授である大久保俊輝氏にご講演を賜りました。

「未来の教室」と銘を打っているこの新しい教育の在り方は「個別最適化」によりそれぞれの能力を引き出すことに重きを置いていることが重要であると感じました。個別最適化とは子どもたちの個々の能力を引き出すためにそれぞれに最適な速度と難易度で学習をする誰一人取り残さない教育の仕組みです。そもそもこの学習が生活の何の役に立つのかが分からない、知らないまま学習しては実感が湧かないのも当然です。学習の目的は決して受験などのためにあるわけではなく実生活で活かすことが本質であると思います。未来の教室は決してICT教育など新しいことをすることだけではなく、学習することの本質を見極めた教育を施すべきであるという考え方であって決して新しいことをすることではないということを理解いたしました。また、この「未来の教室」を提言しているのが文部科学省ではなく、経済産業省であることも非常に興味深い話でこの国の未来を担う子どもたちに明るい世界で活躍をしていただきたいという願いが込められているのだとも感じました。

右に倣えが正解と教えられていた社会から多様性を重んじる現代となっているからこそ、この教育の在り方は非常に重要な考えであり、今後の教育の在り方を根幹から考えなくてはならないと感じさせていただきご講演となりました。

白熱したご講演であったため懇談の時間がほとんどもてなかったのは残念でしたが、共通の見識をもち向かうべき方向性を示すことができたことは今後に繋がる可能性を感じる貴重な時間とすることができたのではないのでしょうか。

(堀内 雄次郎)

■経済産業省「未来の教室」プロジェクト <https://www.learning-innovation.go.jp/>



社会教育委員の紹介

♥ 板垣 文彦 議長

亜細亜大学で教職と社会教育主事の2つの課程の教員として27年目、武蔵野市の社会教育委員を拝命して3年目になります。創造性、共感性、自我に関する研究がライフワークになりました。座右の銘は恩師からいただいた「捲土重来」。

♥ 白田 紀子

NPO法人武蔵野自然塾で活動しています。身近な自然を通して生命の素晴らしさを伝えています。社会教育委員は3期目となります。コロナによる新生活様式は、学びも変化の時を迎えています。社会教育で「できることは何か」考えたいと思います。

♥ 助友 裕子 副議長

専門はヘルスプロモーションです。人々の健康とその決定要因にアプローチするためのアレコレを研究しています。保健体育科教員の養成大学で、公衆衛生や健康教育を教えておりますが、市民としても自主防災やPTA活動を実践しております。

♥ 舟橋 優子

武蔵野市体育協会から選出の舟橋です。前期は先輩委員の皆様から沢山ご指導いただき、又全国社会教育研究大会等で多くの熱心な方々に触れました。その経験を武蔵野の社会教育に生かせるよう微力ですが頑張ろうと考えております。

♥ 河合 雅彦（武蔵野市立第三中学校長）

武蔵野市立中学校長会を代表して委員になりました。私たちの「学び」は家庭で、学校で、そして社会の中でと続いていきます。武蔵野市の生涯学習の向上につながるよう、学校教育の立場から意見を述べてまいります。

♥ 堀内 雄次郎

一般社団法人武蔵野青年会議所の堀内です。このような時代だからこそ社会教育の在り方が問われていると思います。現実と向き合いながら次代に送る学びを追究し、青年会議所の掲げる理想である明るい豊かな社会に向け邁進させていただきます。

♥ 安部 忍（武蔵野市立本宿小校長）

小学校長会の代表として今年度初めて委員になりました。人生100年時代の到来と言われております。武蔵野市の社会教育が、学ぶ人の人生を豊かにし、さらに地域社会が豊かになるよう、微力ながら委員の役割を努めたいと思います。

♥ 秋山 聡

近年、開かれた風通しのよいものになっている武蔵野のPTA。その経験者を代表し今年度も引き続き委員の秋山です。普段はライターの仕事をしています。新しいライフスタイルが叫ばれる今、社会教育の役割を考えます。

♥ 荒井 恵凰

中学生のときに武蔵野市に移り住み、芸道の指導に励んでいます。武蔵野市民芸術文化協会の会長も務めています。永年の伝統芸能の経験を活かし、これからの武蔵野市の社会教育発展のため、微力ですが委員を務めさせていただきます。

♥ 本郷 伸一

青少協地区委員会を代表して社会教育委員となりました。生まれも育ちも武蔵野であり、地域や諸団体を通して様々なイベントやお祭り等に関わってきました。その経験を基に、少しでもお役に立てればと思っております。

♥ 上澤 進介

まめなりというWeb関連の会社の経営と、社会活動でMeetむさしのという地域のWebメディアの運営しています。子育て、家庭、地域、仕事どれも大切にしたい！ワーク・ライフ・ミックスが最近のテーマになっています。

♥ 光田 剛

成蹊大学ボランティア支援センター所長、学園サステナビリティ教育研究センター所員。学校の学びが学校の中だけで完結しなくなり、一方では専門性の高さもますます求められている時代に教育・研究がどうあればいいか考えています。